

第6学年 理科 年間指導計画<略案> (東京書籍版)

| 月 | 単元 | 時数 | 単元目標 | 自然・科学ものがたり | 他教科・領域との関連 | |
|----|----------------|----------------|--|--|---|--|
| 4 | ●地球と私たちの暮らし | 2 | | | | |
| | 1. 物の燃え方と空気 | 8 | 物(植物体)を燃え続けさせるにはどうしたらよいかに興味をもち、物が燃えるのに必要な物や物が燃えた後の空気の変化を、見通しをもって調べることができるようにする。また、空気中の酸素には物を燃やすはたらきがあり、物が燃えると空気中の酸素の一部が使われて二酸化炭素ができることを捉え、物の質的变化について推論しながら捉えることができるようにする。 | 17 雨晴海岸のけあらし 23 熱気球・巨大紙風船 32 高岡大仏 33 アルミニウム | | |
| | 5 | 2. 動物のからだのはたらき | 9 | 人やほかの動物が生きていくためには何が必要かに興味をもち、唾液によるでんぷんの変化や、吐き出した空気と吸う空気の成分の違い、拍動数と脈拍数との関係などを調べ、消化、呼吸、血液循環に関わる体内の各器官のつくりとはたらきについて捉えることができるようにする。 | 26 がけを駆け上がるニホンカモシカの秘密 38 干し柿の秘密 39 越中ブリ | |
| | 6 | 3. 植物のからだのはたらき | 8 | 植物の体内における水の行方に興味をもち、植物に着色した水を吸わせて調べ、植物の体内には水の通り道があり、根から吸い上げられた水は、葉から水蒸気として排出されることを捉えることができるようにする。また、日光に当たった葉と当てなかった葉を調べ、植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることを捉えることができるようにする。 | 31 オニバス・無花粉スギ・岩抱きのケヤキ | |
| 7 | 4. 生き物の暮らしと環境 | 6 | 生き物と食べ物、空気、水との関わりに興味をもち、これまでの学習や生活経験などを想起しながら、人や動物の食べ物の元は植物であり、生き物どうしは「食べる」「食べられる」という関係でつながっていること、空気中の酸素は植物が出していること、水は生き物にとって不可欠な物であることを、実験したり資料で調べたりして知り、生き物は互いに関わり合って生きていることを捉えることができるようにする。 | 3 ライチョウ 4 ヒカリゴケ・ハイマツ・ガキの田 5 氷河・地熱発電・立山黒部ジオパーク 14 とやまの水 15 海洋深層水 19 海のイルミネーション「ホタルイカ」 22 とやまの雪の特ちょう 26 がけを駆け上がるニホンカモシカの秘密 27 冬に飛来するハクチョウ 28 天然記念物イタセンパラ 29 アキアカネ・チョウトンボ・トミヨ 31 オニバス・無花粉スギ・岩抱きのケヤキ 39 越中ブリ | | |
| | 9 | 5. 太陽と月の形 | 6 | 太陽と月の表面の様子や月の形が日によって変わって見えることに興味をもち、月の位置や形を観察して記録し、月の位置と太陽の位置とを関係付けて考え、月の形の見え方は、太陽と月の位置関係によって変わることを推論することができるようにする。 | | |
| 10 | 6. 大地のつくり | 8 | 身の回りの大地やその中に含まれる物に興味をもち、地層やその中に含まれる物を観察したり、大地の構成物やでき方について資料などで調べたりして、大地は礫、砂、泥、火山灰などからできていて、地層は流れる水のはたらきや火山の噴火によってできることを捉えることができるようにする。 | 1 そびえ立つ立山連峰 2 県民の暮らしを守り続ける立山砂防 6 六角形の材木石 7 宮島峡 一の滝のおうけつ 9 地層・大山の恐竜足跡・跡津川断層 11 常願寺川の大転石 20 埋没林と海底林 | | |
| | 7. 変わり続ける大地 | 4 | 大地の変化に興味をもち、過去に起きた地震や火山の噴火について、資料などを基に調べ、大地は地震や火山の噴火によって変化することを捉えたとともに、そこに見られる自然の力の大きさを感じることができるようにする。また、地震や火山の噴火による災害やそれらに対する防災・減災のための取り組みについて調べ、災害に対する備えや情報活用の重要性に気づき、自ら行動する態度を養うことができるようにする。 | 1 そびえ立つ立山連峰 2 県民の暮らしを守り続ける立山砂防 6 六角形の材木石 7 宮島峡 一の滝のおうけつ 9 地層・大山の恐竜足跡・跡津川断層 11 常願寺川の大転石 20 埋没林と海底林 | | |
| | 11 | 8. てこのはたらき | 10 | てこの仕組みに興味をもち、てこを傾けるはたらきは、作用点の位置や力点の位置によって変わることを捉えることができるようにする。また、実験用てこで、てこが水平につり合うときの決まりを発見するとともに、てこを利用した道具の仕組みや使い方を考え、身の回りのさまざまな道具でてこが利用されていることを捉えることができるようにする。 | | |
| 12 | 9. 水溶液の性質とはたらき | 12 | 身の回りの水溶液に興味をもち、水溶液には固体や気体が溶けているものがあることを調べたり、リトマス紙を使って水溶液を酸性、中性、アルカリ性になかま分けしたりすることを通して、水溶液の性質を捉えることができるようにする。また、水溶液は金属を変化させるかに興味をもち、金属が水溶液によって質的に変化していることを捉えることができるようにする。 | 32 高岡大仏 33 アルミニウム | | |
| 1 | 10. 電気と私たちの暮らし | 15 | 身の回りで見られる電気の利用について興味をもち、電気は、手回し発電機などを使って作り出したり、コンデンサーなどにためたりすることができることや、電気は、光、音、運動などに変換されること、また、発熱については電熱線の太さによって発熱の仕方が変わることを捉えることができるようにする。 | 10 小水力発電 24 再生可能エネルギー「風力発電」 | | |
| 2 | 11. 地球に生きる | 10 | 人の暮らしと環境との関わりに興味をもち、人は空気や水などの環境とどのように関わり、どのような影響を及ぼしたり影響を受けたりしているか、そして、環境を保全するためにどのような取り組みや工夫をしているか、更に、環境の変化に伴う災害に対してどのような備えをしているかなどについて調べ、それらの結果を基に、人が地球で暮らし続けるために自分たちにできることや、環境の大切さと生き物と環境との関わりについて考えることができるようにする。 | 3 ライチョウ 4 ヒカリゴケ・ハイマツ・ガキの田 5 氷河・地熱発電・立山黒部ジオパーク 14 とやまの水 15 海洋深層水 19 海のイルミネーション「ホタルイカ」 22 とやまの雪の特ちょう 26 がけを駆け上がるニホンカモシカの秘密 27 冬に飛来するハクチョウ 28 天然記念物イタセンパラ 29 アキアカネ・チョウトンボ・トミヨ 31 オニバス・無花粉スギ・岩抱きのケヤキ 39 越中ブリ | | |
| 3 | | | | | | |